

(単元) ミュージカルの魅力と研究発表

(本時のねらい)

歌詞の内容や曲想・言葉の特性に関心をもち, 楽曲にふさわしい表現を工夫し, イメージをもって表現する学習に主体的に取り組む。

(関心・意欲・態度)

ミュージカル音楽の特徴や雰囲気を知覚・感受しながら, どのように歌うかについて根拠をもってまとめる。

(鑑賞の能力)

(ICT活用方法)

・言葉と音楽の結びつきを意識しながら鑑賞し, 歌詞等と関わらせながら楽曲にふさわしい音楽表現を工夫する。

・「演奏する」というよりも「演じる」という感覚をもって歌唱表現するために, 映像を参考にしながら, 表現について研究する。

(本時の展開)

| 時間 | 学習活動 | 指導事項 | I C T活用方法 |
|------------|--|--|---|
| 導入 3分 | ・本時の目標を確認する。 | ・ワークシートを確認させる。 | |
| 展開 37分 | 1. 担当した役のグループに分かれ, それぞれの曲の歌詞の意味や言葉の特性を生かした歌い方を意識しながら聴く。 2. 演奏者の歌い方にはどのような工夫があったかをグループで話し合う。 | ・どのように歌うかについて演奏家の視点で聴き, 自分の考えや表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入させる。 ・多様な考え方, 表現方法があること, 楽譜に記載されてない表現もあることを伝える。 | DVD・CD等を聴く。 様々な映像から演奏者による表現の違いを聴き取る。 |
| まとめ 10分 | ・グループごとに発表し全員でイメージを共有する。 | | |

(授業の様子)



グループ活動

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

修学旅行時に鑑賞したミュージカルに感動し，お芝居・歌・ダンスの表現力に魅了された生徒たちが，高校最後の音楽のまとめとして自分たちなりのミュージカルを創ることを考えた。映画やコンサート場面など，関係する曲の様々な表現方法を聴き比べることができ，自分なりにその良さや美しさをまとめ，根拠をもって批評し合う活動に大変効果があった。また，普段は自分の興味のある音楽を聴くだけのことが多いようだが，いろいろな歌い方や表現の仕方があることに気づき，どの表現にも良いところがあり個性を生かした表現があるということが理解できた。

しかし，鑑賞前にどこに注目して聴くのかを指示し，時間を決めて聴くことは必要である。また，違いを感じ取りやすい映像をあらかじめ選択しておく必要もある。ただ映像を見せるだけではなく，生徒に身につけさせたい力を学び取れる内容にふさわしい映像を選んでおくことが大切である。